

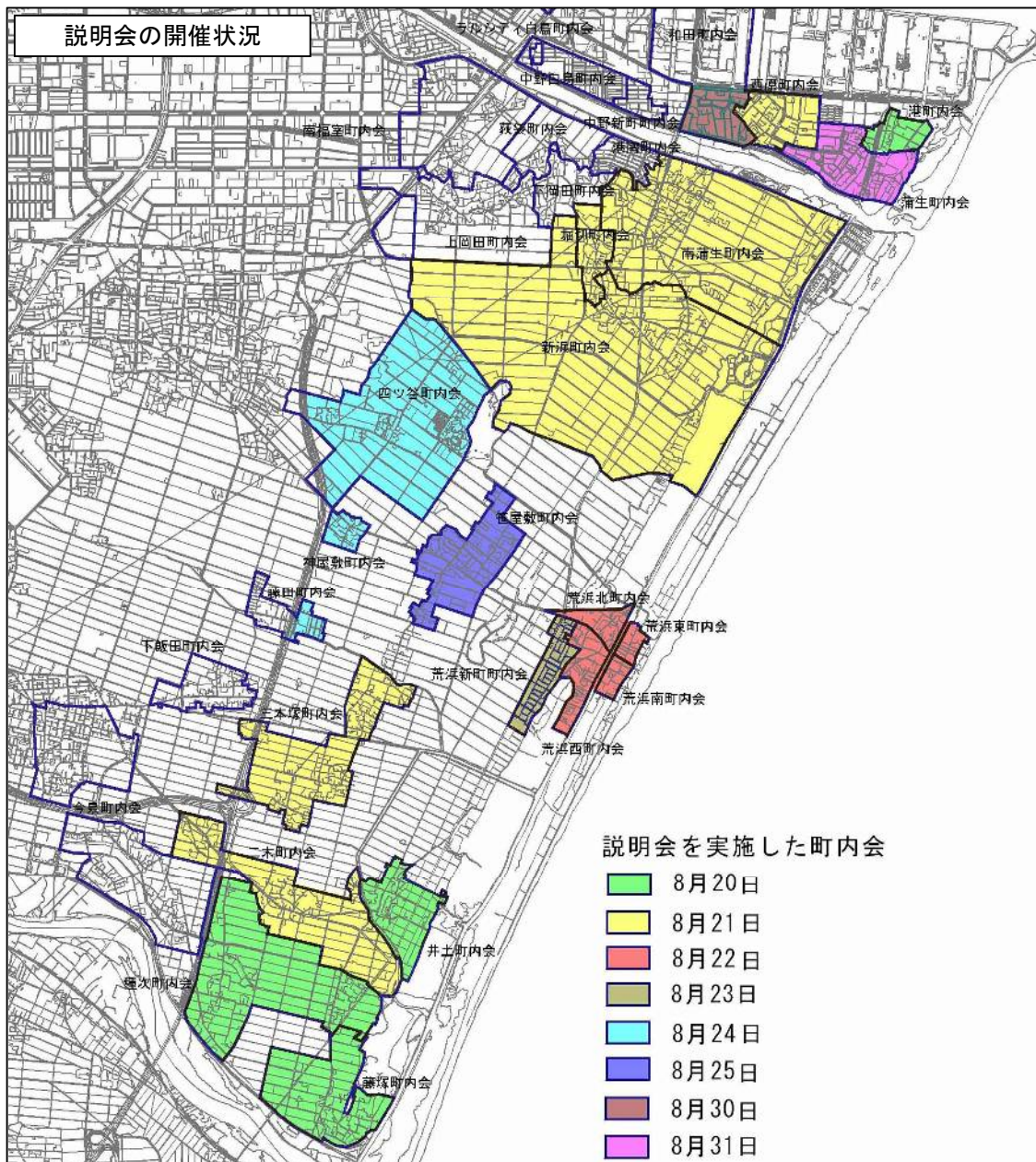
東部地域まちづくり説明会の開催結果概要（1）

1. 開催結果

日程	平成23年8月20日（土）～8月31日（水）
対象	東部道路より東側の19町内会
開催回数	計15会場
対象者数	延3711人（重複あり）
参加者数	2760人（74.4%）

2. 説明会内容

- (1) 復興ビジョン（東部地域のまちづくり）
- (2) 津波シミュレーション
- (3) 土地利用方針と建築制限の基本的な考え方
- (4) 防災集団移転促進事業の概要
- (5) 災害公営住宅の概要
- (6) 今後の作付予定及び作付に向けた作業スケジュール
（七北田川右岸地域のみ）



主な意見・質問	数	例
1 明確な方向性・スケジュールを早く示してほしい	34	・建築制限をかける範囲を早く示してほしい。住めるのか？住めないのか？ ・具体的な移転先を早く示してほしい ・移転のスケジュールを早く示してほしい
2 防集事業の制度についての質問	27	・10戸以上まとまらないと移転できないのか？ ・集団移転ではなく個別に移転した場合の補助は？ ・土地は買取るといふことだが建物は買取れないのか？
3 移転先に対する要望・質問	22	・田子地区ではなく仙台港背後地に移転したい（港町、蒲生、西原、和田） ・荒井よりも近い今泉なども移転候補地にあげてほしい（藤塚、井土） ・今まで100坪以上のところに住んでいた。220㎡（30坪）では狭くて住めない
4 移転促進区域の土地買取りについての質問・要望	21	・被災前の単価で買取りしてほしい ・工場、倉庫、事業所などの土地も買取りしてもらえるのか？ ・集団移転に乗らなくても人が住めないのなら買取りしてほしい
5 災害危険区域・移転促進区域について	17	・災害危険区域、移転促進区域に、そのまま住み続けることはできるのか？ ・災害危険区域でも耕作は可能か？ ・人は住めないと云うが、寺や墓はどうなるのか？
6 津波シミュレーションについて	16	・シミュレーションで対象としているのは、本震災か？50～150年規模の震災か？ ・シミュレーションがよくわからない。この程度の検討で住めなくなるとは納得できない ・県道の盛土で蒲生の浸水深が増すのは本当か？（蒲生、和田）
7 元の場所に住みたい	12	・堤防設置や県道盛土により、出来るだけ元の場所に住めるようにしてほしい ・家が流されず残ったので修繕計画をたてている。元の場所に住みたい ・現地で再建したいということに対する方向性が示されていない
8 仮設住宅・民賃住宅について	11	・仮設住宅・民賃住宅の2年間が過ぎた後はどうすればよいのか？ ・民賃住宅に住んでいるが、仮設住宅と比べ情報が入らず不便 ・仮設住宅の環境が悪い
9 二重ローン・生活支援・助成について	11	・家のローンがあり、集団移転したくてもできない ・二重ローンを支援してほしい ・固定資産税についても配慮してほしい
10 農業について	10	・排水機場を早く復旧してもらわなければ、除塩もできず作付けもできない ・鍬も鎌も一つもなく作付けできない。助成や補助をしてほしい。 ・農家は二重ローンだけではなく、農機具購入で三重ローンになる
11 災害公営住宅について	9	・農地や住み慣れた土地に出来るだけ近い場所に災害公営住宅を計画してほしい ・災害公営住宅2000戸の根拠は？ ・10年後の払い下げは有料か？無料か？
12 住民意見を反映してほしい	9	・専門家の意見ばかり聞くのではなく、住民の意見をよく聞いて反映してほしい ・移転をやるかどうかの意向調査を確実に行ってほしい ・荒井、田子など希望する移転先ごとに人を集めて意見を聞いてほしい
13 海岸堤防、県道盛土などの防災施策について	8	・嵩上げ道路などへ緊急避難できる設備を盛り込んでほしい ・七北田川堤防を2段構えに補強してほしい ・盛土による丘とはどういふものか？
14 建築確認申請、家屋の修繕、現位置再生における嵩上げ盛土等について	7	・元の場所に住みたいので家を修理しようと考えているが、修理してもよいのか？ ・現在は建築確認申請した場合、すぐに許可はおろるのか？ ・現位置再生地区では盛土するとあるが、現在家が建っている土地も盛土するのか？
15 企業・事業者に対する施策・支援について	7	・事業所を再建する場合の補助はあるか？ ・事業者には利子補給も何も無い。仙台市として助成を考えてほしい ・事業所で働く人達のための避難タワーなどは考えているのか？
16 説明会の方法等について	6	・参加の出欠をとって、欠席者には資料を送ってほしい ・今日の説明会の案内が届いていない ・最初に、余震が起きた場合の避難誘導を説明すべき
17 利子補給・補助金について	5	・土地と建物を購入した場合、利子補給406万円では足りない ・利子補給はどのタイミングで支給されるのか？
18 区域ごとの具体的な説明をしてほしい	5	・地区の説明会なので、この地区がどうなるかを説明してほしい ・図面の中で自分の地区がどこなのか明示した資料にしてほしい
19 移転先土地単価についての質問	4	・移転先の土地は購入ということだが、価格はどのくらいなのか？ ・荒井東地区や田子西地区の土地単価はいくらくらいか？
20 市独自の施策・支援策を示してほしい	3	・色々国に要望しているのはわかるが、仙台市独自の救済策も示してほしい
21 漁業について	2	・復興ビジョンに漁業の方向性が示されていない ・定置網をやっているが倉庫が流された。倉庫を建ててほしい
22 その他	16	・被災者が市街化調整区域農地を宅地へ転用できるよう県へ要望してほしい ・集団移転先の地盤調査の結果を公表してほしい ・集団移転後、太陽光パネルに敷地を貸して収入を得たいと考えている。国からの情報はるか？ ・全壊扱いで現在2階に住んでいるが、無料解体してもらえるのか？

東部地域まちづくり説明会の開催結果概要（2）

① 各地区共通で出た意見・質問

- ・明確な方向性・スケジュールを早く示してほしい
- ・防集事業の制度についての質問
- ・移転先に対する要望・質問
- ・移転促進区域の土地買取りについての質問・要望
- ・災害危険区域・移転促進区域について
- ・津波シミュレーションについて
- ・住民意見を反映してほしい
- ・説明会の方法等について

〈港町町内会〉



〈南蒲生町内会〉



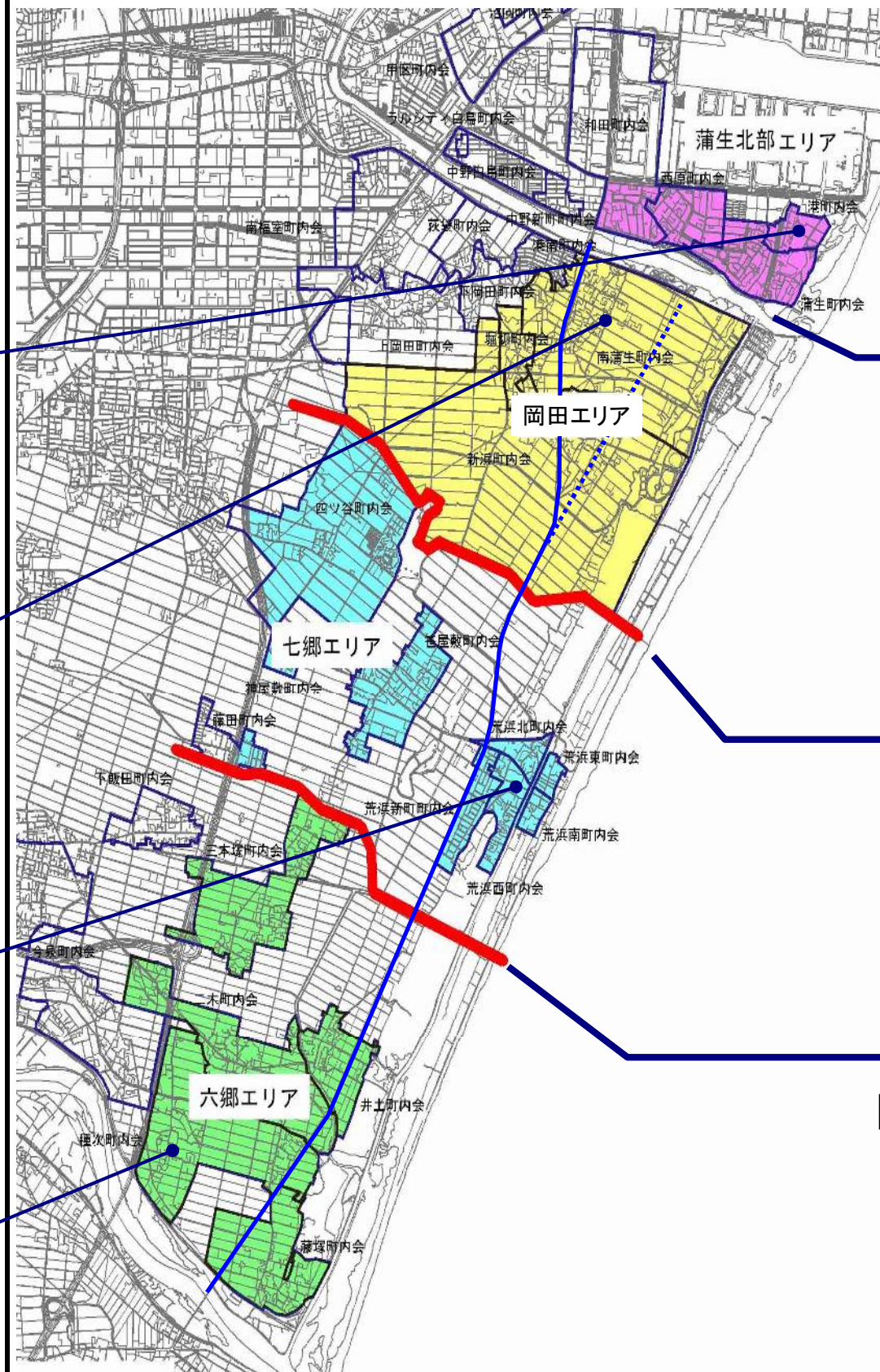
〈荒浜東西南北町内会〉



〈種次町内会〉



② 地域の特徴が見られた意見・質問



蒲生北部エリア

- 〈移転先〉 田子地区ではなく、仙台港背後地へ移転したい(4町内会とも)
- 〈事業者〉 工場・企業地を現地で再生しない場合、その土地も買い取ってくれるのか？(西原)
- 〈事業者〉 すぐに現地で事業再開したいが、ライフラインはどうなっているのか？(蒲生)
- 〈現位置再生〉 家が流されなかったのに修繕計画をたてているが住めるか？(西原)
- 〈現位置再生〉 全壊が少ない。残りたい人も強制的に移転させられるのか？(和田)
- 〈コミュニティ〉 中野小学校を廃校にしないようにしてほしい(蒲生・西原・和田)

岡田エリア

- 〈現位置再生〉 現地で再建したいということに対する方向性が示されていない(新浜・堀切)
- 〈現位置再生〉 海岸に堤防をつくって、移転しなくても済むようにしてほしい(新浜・堀切)
- 〈現位置再生〉 時間をかけてもよいので、何とか残れる方法を検討してほしい(南蒲生)
- 〈コミュニティ〉 集落を県道で東西に分断するのではなく、集落を守るように考えてほしい(南蒲生)
- 〈コミュニティ〉 県道の現道ルート案では南蒲生町内会の8割が住めなくなる(南蒲生)
- 〈コミュニティ〉 県道の北部を直線にする案を提案しているが、どうなっているのか？(南蒲生)

七郷エリア

- 〈農業〉 排水を早く復旧して作付けをできるようにしてほしい(四ツ谷・神屋敷・藤田)
- 〈農業〉 排水機場を早く復旧しないと除塩もできず作付けもできない(笹屋敷)
- 〈農業〉 50~60坪の土地では、農家をやれと言われてもできない(笹屋敷)
- 〈漁業〉 復興ビジョンに漁業についての記載が無い。漁業のことも考えてほしい(荒浜)
- 〈土地利用〉 移転して住めなくなった土地で太陽光パネルに敷地を貸して収入を得たい(荒浜新町)

六郷エリア

- 〈移転先〉 日辺や今泉なども移転先の候補地にあげてほしい(藤塚)
- 〈移転先〉 六郷は荒井よりも地盤が良いので、今泉周辺、ニッペリアグラウンド付近なども移転先の候補地にあげてほしい(井土)
- 〈移転先〉 ほとんどの人が100坪以上の土地に住んでいた。220㎡の移転先ではとても住めないのを再考してほしい(井土)
- 〈現位置再生〉 堤防設置や盛土の策を講じて、できるだけ近くの場所で暮らしたい(藤塚)
- 〈現位置再生〉 二線堤整備により県道西側は浸水2m以下にして元の場所に戻れるようにしてほしい(二木)

地域からの要望

NO	月日	要望団体名	要望概要
1	4月30日	荒浜学区町内会	<ul style="list-style-type: none"> ○住民の約9割が荒井地区への集団移転を希望 ○小学校公有地に全世帯が入居できるように ○地域住民が安心して生活できるよう早急な検討を
2	7月	荒浜復興まちづくり実行委員会 (荒浜新町町内会長、荒浜東町町内会長、荒浜南町町内会長、荒浜北町町内会長、荒浜西町町内会長、石場町町内会長、荒浜自治会長)	<ul style="list-style-type: none"> ○荒浜地区の代替地を用意すること ○仮設入居期間内に実現するよう整備を急ぐこと
3	8月10日	中野小学校区復興対策委員会 (蒲生町内会、港町内会、西原町内会、和田町内会)	<ul style="list-style-type: none"> ○安心・安全な復興まちづくりの策定 <ul style="list-style-type: none"> ・防災集団移転促進事業により居住地を確保するなど、地域の意向を十分に反映した安全・安心な復興まちづくり計画の早急な策定を ○小学校を中心とした地域コミュニティの存続 <ul style="list-style-type: none"> ・集団移転後も小学校の存続はもちろんのこと、中野小学校を中心とした地域コミュニティの存続ができるまちづくりができるよう要望
4	9月12日	岡田地区町内会連絡協議会 岡田地区農業関係役員 仙台市農業委員	<ul style="list-style-type: none"> ○岡田地区については、当面、一律に災害危険区域の指定を行わないこと <ul style="list-style-type: none"> ・津波により家屋が流失した箇所もあるが、一階部分のみ被災したところも多く、一律に災害危険区域に指定するのは疑問 ・現地再建を行いつつ、今後のまちづくりに十分に時間をかけ、各世代の声に耳を傾けながら取り組むことで、将来に禍根を残さないように ・営農を継続していく上でも、農地と集落の関係のあり方を十分に検討していくべき ○農業の再生を目指すこと <ul style="list-style-type: none"> ・岡田地区は極めて優良な農地で、既に作付けを開始した農家もあり、津波によりミネラル分が豊富になったとの意見もあり ・消費地を身近に置く都市型農業が仙台市の農業の特徴であることを踏まえ、優良な農地を転用することなく農業の再生を目指すことが、住民にとっての願いであり、今後のまちづくりの支えになっていく

住民独自アンケートの結果について

1. 宮城野区 蒲生新浜町内会

- ・加入世帯数 136
- ・回答数 63 (回答率 46.3%)

移転したい	集団移転	9	21	33.3%
	個別移転	5		
	新浜に住みたくない	7		
残りたい	現在地	34	39	61.9%
	現在地でなくとも新浜に	5		
決められない		3		4.8%

2. 若林区 荒浜地区の5町内会

- ・加入世帯数 712
- ・回答数 502 (回答率 70.5%)

移転したい	集団移転	109	434	86.5%
	無償で代替地	249		
	個人で移転	35		
	公営住宅	41		
残りたい	現在地		43	8.6%
その他			25	5.0%

3. 若林区 井土町内会

- ・加入世帯数 104
- ・回答数 79 (回答率 76.0%)

移転したい	集団移転	39	53	67.1%
	個別移転	14		
残りたい	現在地	16		20.3%
その他		2		2.5%
不明		6		7.6%
無効		2		2.5%